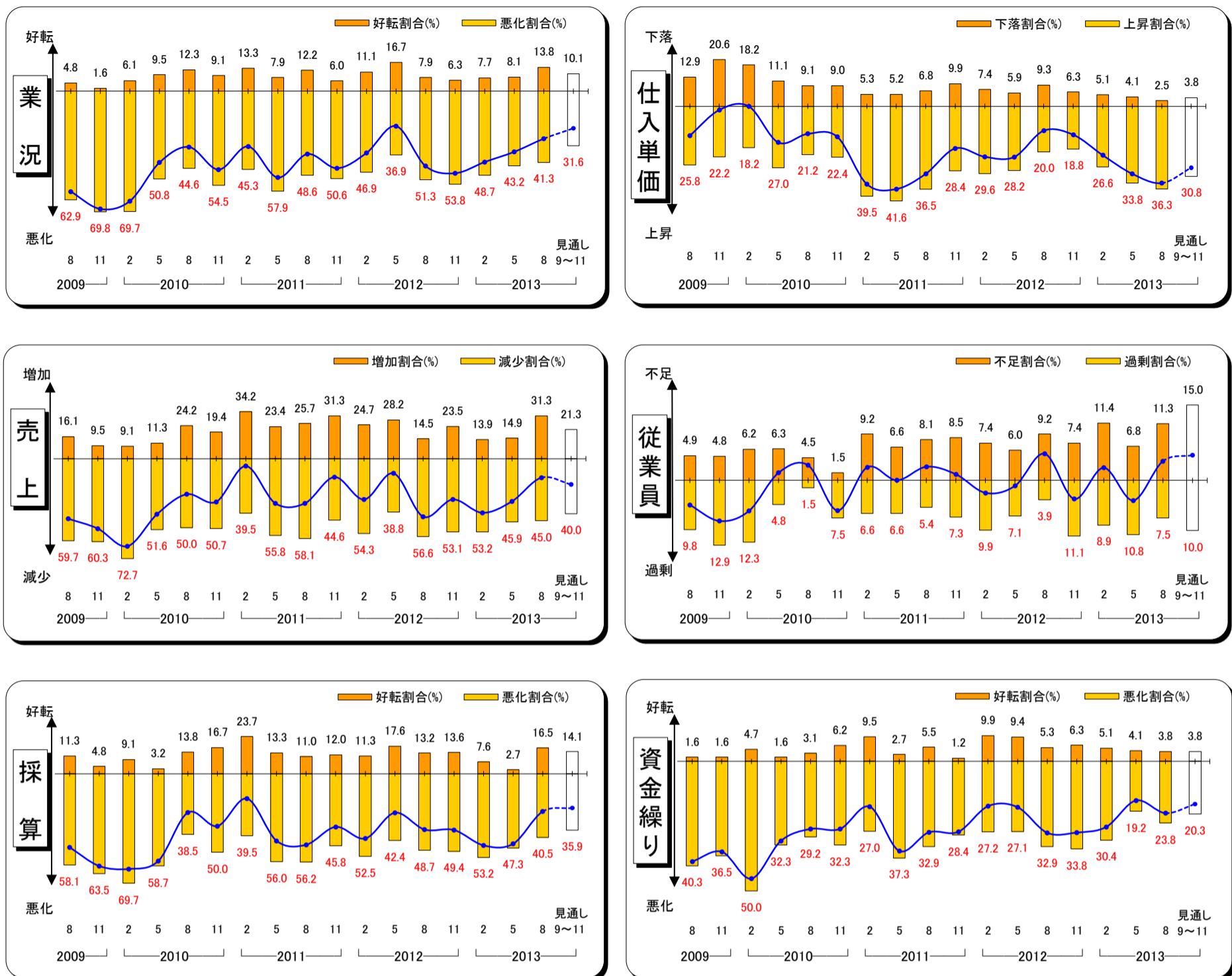


【小売業】①



【小売業】②

企業の声（順不同）

各種商品小売業	消費税増税による個人消費への影響を懸念している。
男子服小売業	猛暑の影響で来店客の減少し、衣料に対する意欲が感じられず、過去に例のない最低売上でした。また「物価が上がり生活が大変で、景気が良くなってきたという実感はまったくない」とのお客様の声が多く聞かれます。
婦人服小売業	平成25年7月より客数が極端に減る。
靴小売業	元気生活づくりのポイントの一つに「生活のリズム」があり、ウォーキングが代表的で、「からだは歩けば改善されます」。靴選びが大切な高齢化時代に、関心度は高くなりつつあります。
靴小売業	為替の影響あり。
コンビニエンスストア	円安による輸入商品の値上げが続き、価格を改定せざるを得ないが、商売としてはやりづらい。政府の経済政策の効果は、自作自演のようを感じられない。
料理品小売業	原料価格の高騰で頭が痛いです。本年度の米価も同様です。
米穀類小売業	今の時代、小売店がシャッターを開けている方が不思議に思える程です。「地域社会に貢献」を胸に一生懸命サービス向上に努めているつもりでも、消費者にとっては得しただけで終わりのようです。
自動車部分品・附属品小売業	昨年に比較して消費の落ち込みが大きく客数も減少気味である。特に7月以降は厳しくなってきている。今後も好転する様な動向も期待できない為、9月以降も前年割れが続くものと思われる。
二輪自動車小売業	駐車禁止箇所の増加や不景気の嵐で二輪業界は最悪。駐車できる場所がないバイクに駐車スペースの確保を。東京、大阪、神奈川、千葉はワーストで、ユーザーが困っているうえ、零細小企業バイク店も困っている。一方、地域に愛着を持てるよう、全国各地で行政主導によりご当地ナンバーや観光資源等を表示した原付用のほのぼのデザインナンバープレートを交付し、まちおこしのツールに利用されている。(荒川区:あら坊 調布市:ゲゲゲの鬼太郎他)民間の調査機関によれば、新聞広告やCMより少ない費用で高いPR効果があり、地方への愛着が広がり、地方税(軽自動車税)の課税にもなる。業界発展のためにも、ご当地ナンバープレートを広め、千葉市も積極的に導入を進めて欲しい。
電気機械器具小売業	イベント・DM・チラシ等対策をするが、個人消費がなかなか上ががらず、高齢者の消費意欲が出る事を期待している。若者は所得が増加せず、一部の層にはアベノミクスが関係あるが、まだまだ一般には効果が表れず、当分の間、中小企業は低迷するだろうと考えている。増税も関係してくるだろう。
電気機械器具小売業	先の見通しでアベノミクスに期待しています。
医薬品小売業	医薬品のインターネット販売が解禁になれば売上のダウンは必至。また処方箋も伸びが見込めず、業況は完全に悪くなります
調剤薬局	来年3月までは変化なし。
燃料小売業	酷暑により屋外で働く社員に非常に負担がかかり、先行き失業率改善の際の人手不足を懸念。円安による仕入増は過当競争で転嫁しきれていない。実需の伸びは感じられない。
書籍・雑誌小売業	出版物(専門書等)の電子化、学生のタブレット利用等により整本の売上が減少している。
紙・文房具小売業	大手スーパーが新規大規模店舗に文具売り場を大きく増強しつつあり、また量販店に文具を卸している問屋業がディスカウントストアをあちこちにつくっている現状から、我々小売店に対する影響が大きいと思うので、先行きは良くならないだろうと思う。
スポーツ用品小売業	アベノミクスでの恩恵は大企業があやかっているようで、個人消費は弱くデフレ状態が続いている。仕入代は上がっているのに売値が上げられず厳しい状態です。これで来年4月から消費税が上がったらどうなるのか不安です。
がん具・娯楽用品小売業	為替が100円程で安定してくれることを望む。景気については、まだまだ懐疑的な部分が多く、思い切った次の一手を打つ状況ではない。
時計・眼鏡・光学機械小売業	円安・株高で消費動向が改善され、その恩恵を我社も若干なりともこうむっているのであろうか? 金融緩和の大盤振る舞いよりも財政再建の指標を明らかにすることが重要事項ではないのか? 返さなくていい借金など、この世(日本)においては存在しない(はずである)。
ホームセンター	円安により海外生産のものの仕入単価の高騰が懸念される。
工業薬品・理化学機器等小売業	原油高、円安の影響で原材料価格が高騰している為、売上が上昇しても採算が合わない状況です。そのため営業利益は減少傾向にあります。(顧客への価格転嫁はすべて出来ないため)ただし、株高は経済を活性化しつつありますが、まだまだの感があります。
自動販売機による小売業	販売価格の動向と消費税の関係を注視している。